

年末一時金引き上げ！許すな病床削減！すべてのケア労働者の大幅賃上げ！診療報酬・介護報酬10%引き上げ

11・6産別統一行動 ～立ち上がれ、ケア労働者～

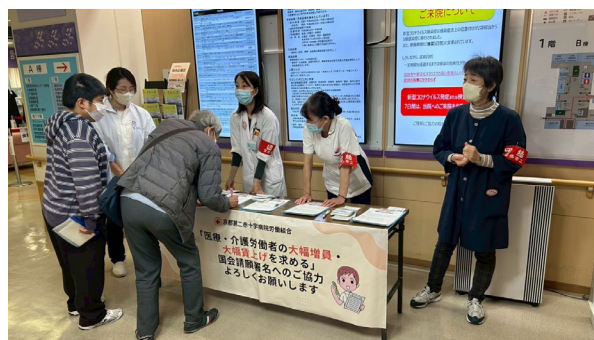
11月5日の回答指定日の翌6日、日本医労連の産別統一行動に呼応し、加盟組織では職場や地域で多彩な取り組みを展開しました。

第二日赤労組は始業時1時間のストで外来前宣伝（下記参考）。京都民医労は午後指名ストで“サウンドデモ&リレートーク”結集し、民医労北部は4人で地域にポスティング行動。第一日赤職労は昼休み集会で翌日ストを構えた団交への呼びかけ。全医労京都・宇多野は朝宣伝等を行いました。



第二日赤・ストライキ決起で外来前宣伝！

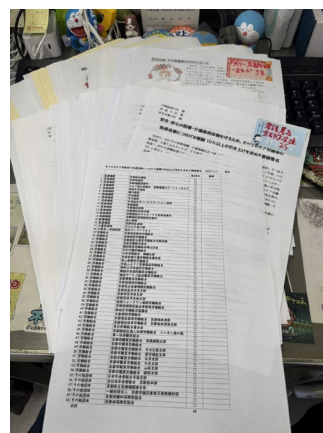
職員の出勤時間前に職員向けに朝ビラ。8:30から外来前にて署名行動を組合員6人+医労連から支援5人で実施。ビラ入りティッシュ300配布、夜勤増員改善署名98筆を集約。



「わたしも若い頃、労働組合してたわ。ホントに病院は混んどうな。看護師増やさんと。頑張ってや。」と患者さん、「（賃金上がらんのは）点数で決まってるしな。あげんとな」と日赤の支部の評議員をしている方等、たくさんの激励をいただきました。

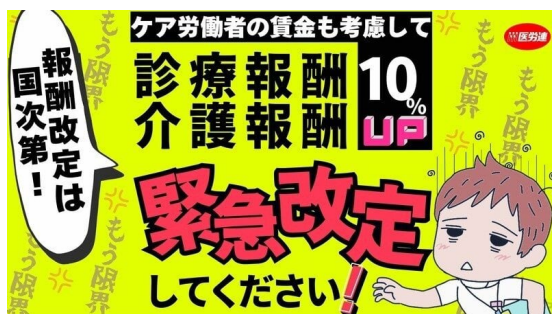
団体署名・一言カード

診療報酬10%UP↑の要請署名（団体署名）は60通返送、一言カードは219人分を集約し（10/7現在）、日本医労連に郵送しました。11月12日の日本医労連中央行動時に提出しますが、最終期限は11月末です。手元があれば、取り急ぎ書記局まで送ってください。



オンライン署名

「ケア労働者もう限界です！診療報酬・介護報酬をあげて他産業並みの賃上げをしてください」オンライン署名は40,174筆です（11/10）。めざせ、5万筆です。皆さん、さらなるご協力をお願いします。



～府民に届けた、私たちの想い～ サウンドデモ&リレートーク

当日午後、54人（6単組・総評支援者含む）の参加で京都市役所前に集合し、四条河原町の宣伝場所をめざして、サウンドデモを行いました。

注目度アップ↑↑↑サウンドデモ



看護師足りない

足りない

足りない

あなたのいのちを守りたい

現場の声届けた リレートーク

サウンドカーで河原町を南進し、多くの人の注目を集めました。そのあと、四条河原町では8人のリレートークと署名宣伝行動（署名29筆）を行いました。通行する市民の方々に對し、切実な医療・介護現場実態や思いを次のように訴えました。

「介護の人員が足りない。過酷な長時間労働をしています。体の心配をしながら働いています。」「人手不足から患者さんのそばにいて思うような看護ができないジレンマを抱えています。なかまが辞めていく離職に歯止めがかかっていません。」「看護師さんの退職が後を絶ちません。看護師の業務は多忙となり、トイレに連れて行ってほしいというナーズコールも取ってあげられない。」「世の中の賃上げの流れに、医療現場はまったくついていけていません。」「患者さんとゆっくり向き合い、時間をかけてケアやコミュニケーションをしたい。」「ある日突然、地域の病院が消えてしまう可能性があります。地域医療を守ってください。」「1人2人と休めば、ケアの質を落とさざるを得ない。」「自分の体調不良や子どもの風邪をひいた時、なかなか休みづらい。」

どの発言からも、医療・介護の現場で深刻化する人手不足や過重労働、そして現場の切実な思いが伝わりました。この声をひろげ、夜勤改善と大幅増員、診療報酬10%以上UPにつなげていきます。

